

| | 子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合) | 活動の展開 | 教師の関わり(手立て) | 単元の評価規準 ○知識・理解 ○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 ＜キャリア・未来デザイン教育の視点＞ [探究的な学びの視点] |
|---|--|---|--|---|
| 一学期 | 「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(7) | | | |
| | ・3年生の時は竹・紙・大蔵大根・お皿・竹灯をやって楽しかった。 ・「和」と聞いてイメージするのは、歴史・和紙・和食・和菓子・駄菓子・障子・文化・和風かな。 ・堅焼のしょう油味のせんべいを作ってみたい。 ・せんべいはうるち米、おかきはもち米で作られているんだね。 ・「おかきあられの大黒屋」のおかきマカロンがおいしそう！ ・今はお米不足だから、育てたお米でせんべいを作ってみたい！ ・作ったせんべいをうちのの人にも食べてもらいたい！ ・せんべいがとても堅い…。次はおいしいせんべいを作りたい！ ・丸い形にするのが難しい…。 | ○昨年度の総合について振り返り、新年度の総合の学年テーマ「和」からイメージを膨らませ、学級のテーマを決める。(1) ○どんなせんべいがあるのか、種類や作り方を調べる。(1) ○作りたいせんべいを選び、グループに分かれる。(1) ○作り方や材料を調べ、実際にせんべいを作ってみる。(3) ○せんべい作りの振り返りを行い、次の活動に生かす。(1) | ・昨年度の総合を思い出し、今年度のテーマに興味をもてるようにする。 ・いろいろな種類のせんべいを児童に見せ、「自分も作りたい！」という意欲が高まるようにする。 ・せんべいが苦手な子も興味をもてるように、「おかきマカロン」を紹介し、せんべいとせんべいの間に挟むものの開発をしてもよいことを伝える。 ・相手意識につながるように「どんな人に食べてもらいたい？」と聞く。 ・失敗しても次に生かせるように声掛けをする。 | [1:課題を見出し、把握している] ＜③課題対応能力＞ ＜④キャリアプランニング能力＞ ○せんべいには様々な種類や歴史があり、日本の誇れる食文化の一つであることを理解している。 ＜②自己理解・自己管理能力＞ ◎自分が探究したことを生かしてせんべいを作るために、自分なりに考えながら行動している。 |
| 二学期 | 「自分の追究したいせんべいを繰り返し作る。課題と向き合い、上手くなる」(30) | | | |
| | ・米粉と水を混ぜて、どれくらい練ればよいのだろう。 ・上手く丸い形にならないなあ。 ・形を整えるのが難しい。 ・思った通りの食感にならないなあ。 ・もっと堅いせんべいにしたいなあ。 ・次は味噌味に挑戦したい！ ・けやっきーとけやちゃんのせんべいを作りたい！ ・繰り返し練習していると慣れてきた！ ・プロにコツなどを聞いてみたい！ ・いろんな人に見てもらい、食べてもらいたいな！ | ○せんべい作りに取り組み、さらにおいしいせんべいを作るにはどうしたらよいのかを考え、探究する。(24) ○どんな人に食べてもらいたいかなど、相手意識をもち、せんべい作りの内容を再考する。(4) ○オリジナルのせんべいのデザインを考える。(2) | ・せんべいについてやってみたいこと、挑戦したいこと、ワクワクすることなどを聞く。 ・今までの学習を生かせるように、学習の軌跡を残しておき、振り返りしやすいようにする。 ・1学期のせんべい作りから同様の準備手順を示し、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。 | ◎せんべい作りやせんべいの魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞ ●自己の取組を振り返ることを通して、よりおいしいせんべいを作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。 ◎せんべい作りやせんべいの魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞＜②自己理解・自己管理能力＞＜③課題対応能力＞ ＜④キャリアプランニング能力＞ |
| 三学期 | 「せんべいの魅力を広める」「1年間の成果となるせんべいを保護者や地域に振る舞う」(15) | | | |
| | ・学習発表会でせんべいの魅力を伝えたい！ ・自分たちの成長を、関わった方に見てもらいたい！ ・自分たちの考えたオリジナルせんべいを紹介したい！ ・他の学年の人にせんべい作りの楽しさ、せんべいの魅力を紹介したい！ ・探究することが楽しかった！ ・うちのの人に食べて喜んでもらったのが嬉しい！ | ○せんべいの魅力をまとめる。(4) ○学習発表会等でせんべいの魅力を紹介する。(2) ○おうちの方を招き、「4年2組おせんべい屋さん」を開催するために準備をする。(10) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2) | ・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えるよう促す。 ・今までの学習の軌跡について、児童が自分の成長を、実感をもって話すことができるようたくさん記録をとっておく。 ・せんべい作りを通して学んだことを5年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。 | ○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。[2:課題解決の方法を考えている] ●せんべいの魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。 [3:協働して学んでいる] ◎せんべい作りの方法やせんべいの魅力を、伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、適切な方法で表現している。[4:学びを振り返り、次につなげている] ＜④キャリアプランニング能力＞＜②自己理解・自己管理能力＞ |
| 材（せんべい作り）のもつ価値 | | | 材（せんべい作り）に寄せる子どもたちの思いや願い | |
| ・せんべい作りを繰り返し行い、新たな課題を見付け、その課題に向き合いおいしさを追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。 ・せんべいは身近な食べ物なので、手作りのものと市販のものを食べ比べることができる。 ・自分の作ったせんべいを食べてもらい、おいしいと言われることで達成感を得ることができる。 ・せんべいの作り方や味付けなどを繰り返し考え、試すことで、強いこだわりが生まれ、探究することにつながる。 | | | ★自分で作ったせんべいを食べたいと願っている。 ☆せんべい作りを楽しんでいる。 ☆味付けや見た目を工夫することで、たくさんの人にせんべいを好きになってもらいたいと考えている。 ☆せんべいについて深く知ることで、せんべいの魅力を多くの人に伝えたいと考えている。 <div>★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い</div> | |